

## 原薬製造工場が3月9日より稼働開始 高品質な原薬を供給する体制を構築

2015年3月13日

大地化成株式会社

代表取締役社長 猪熊 俊

この度、2013年12月より福崎町東部工業団地内で建設しておりました原薬製造工場である兵庫工場が完成し、3月9日より稼働しましたことを、お知らせいたします。これにより、当社から東和薬品株式会社への原薬供給体制が構築され、トーワのジェネリックのさらなる安定供給に貢献できる体制が整いました。

当社では、東和薬品の原薬プロセス研究部門と連携し、原薬の製造に関する研究開発に取り組んでおり、開発した製造方法を用いて自社で原薬を製造するために兵庫工場を建設いたしました。東和薬品グループとして研究開発・製造をおこなうことで、原薬に関するノウハウの蓄積が可能となり、東和薬品の品質基準に合う原薬の合成プロセスや製造方法を確立することができるようになります。製造方法が確立した原薬は、自社工場で製造したり、委託先にノウハウを移管し製造したりすることで、高い品質の原薬を安定的に供給できる仕組みを構築しています。

兵庫工場は稼働後3年を目途に、年間20~30品目の原薬製造を予定しており、また、5年間で100成分の原薬合成プロセスの確立を目指しています。

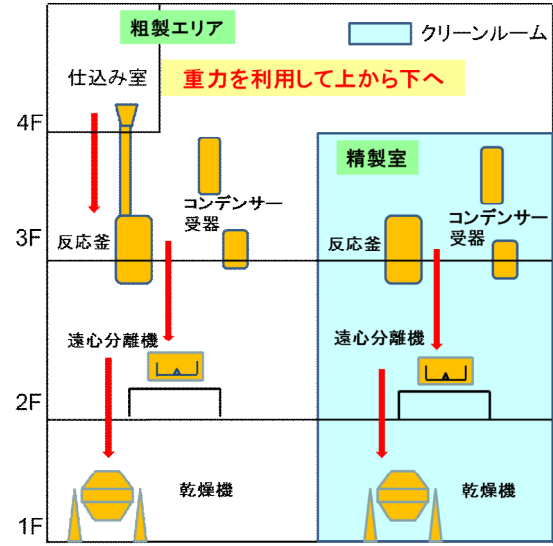


【兵庫工場の特長】

1. フレキシブルかつ安全で作業効率の高い製造設備  
「スイート方式」

スイート方式とは、原料の投入から精製までを1つの製造エリアとし、各製造エリアが物理的に区切られていることで、同時に異なる複数の原薬を製造することが可能となっている方式です。これにより、原薬同士の混入などのリスク回避をおこなっております。

また、スイート内は重力落下を利用したグラビティー方式を採用し、原料を最上階から投入し、階下へと製造工程を進めることで作業効率の向上も図っています。



1スイート内の概略図とグラビティー方式

2. 環境への配慮

「法令を順守した排水処理」

工場から出る排水は場内の活性汚泥処理を持つ排水処理設備にて、瀬戸内海環境保全特別措置法に準拠した基準以下まで処理をおこなったのち、河川へ放流します。また、放流する一部の水は場内に設置した池（大地の泉）に供給し、そこで魚を飼育いたします。

「省エネルギー」

工場内は防爆エリアを含むすべての照明をLED化しています。

また、CO<sub>2</sub>の排出量を削減するため、燃料に液化天然ガス（LNG）を採用しています。

【兵庫工場概要】

名称	大地化成株式会社 兵庫工場
所在地	〒679-2201 兵庫県神崎郡福崎町大貫 1004-6 (福崎町東部工業団地内)
敷地面積	52,367.81m <sup>2</sup>
延床面積	12,298m <sup>2</sup>
主要建物	製造棟：4F 建て 建築面積：2,997m <sup>2</sup> 延床面積：9,173m <sup>2</sup> 管理棟：3F 建て 建築面積：865m <sup>2</sup> 延床面積：2,447m <sup>2</sup> その他：エネルギー棟、危険物倉庫、廃棄物倉庫など
総投資額	約 70 億円 (土地含む)

以上